



ねずみっ子 だより

No.
15

ごあいさつ

勝愛幼稚園の歯科健診を担当させて頂いておりますかとう歯科です。

歯科健診では虫歯、歯並び、かみ合わせ、あごの関節、舌、歯茎その他口の中の病気などを見ています。歯のけがについてお話します。

お口のけが

お口のけがは1～2歳、7～8歳にピークがあります。そして男児が女児の2倍多い。環境が変わり、子どもの活動も活発になって冒険を行う時期と考えられます。これらのことは決して悪いことではなくて、積極的に応援してあげたいものですが、けがはやはりつきものです。けがは予防ができませんのでその後の対処を知っておく必要があります。

最初に

最初にけがに至った状況をよく観察してください。意識を失ったりしていないか、頭痛や吐き気、めまい、嘔吐などがみられる場合は、これらが認められるとすぐに救急車を呼びましょう。全身状態に問題ないかが一番大切になります。またほかにけがをしていることもありますので、小児科などの受診を行ってください。

お口の出血

歯や口の中を切ったことによる出血を認める場合はまず止血を行います。うがいや濡らしたガーゼで出血部位をきれいにしてから、清潔なガーゼなどで出血部位を押さえて止血を図ります。歯肉が切れていたり、歯根が折れたり、歯の位置がずれていることも多いので、早めに歯医者さんを受診しましょう。

歯が欠けた 歯が折れた

転倒や衝突により強い衝撃を受けると、歯が欠けてしまいます。欠け方が部分的で軽度な場合は、痛みなどの症状は出にくく、神経(歯髄)や歯周組織への影響も少ないことが多いのですが、欠けた部分から神経(歯髄)が感染を起こしたりしますので、緊急性はありませんが、歯医者さんを受診して詰めてもらってください。



上顎永久前歯の中程度の破折



神経(歯髄)は出ていないが、放置すると歯髄感染を起こす可能性がある

歯が欠けて神経(歯髄)まで達するような重度の場合は、炎症が起きて強い痛みや歯肉の腫れなどを引き起こすことが多いので、早めの処置が必要です。神経を抜いたりせずに治療できる場合も多いのでできるだけ早く歯医者さんに行ってください。



上顎永久前歯の重度の破折



神経(歯髄)が出ているため、歯髄処置が必要である

歯がぐらぐらになった 歯がゆがんだ 歯がめり込んだ

歯を打ったことで、歯がグラグラになったり、周りの歯肉から出血することもよくみられます。歯の動揺は、歯を支える骨の部分がダメージを受けた場合に起こりやすいのですが、ときには歯の根が折れた(歯根の破折)場合にもグラグラになります。また、乳歯や生えたての永久歯の場合、外傷による歯の位置のずれや歯のめり込みが比較的多くみられます。治療としては、動揺が軽度な場合は、受傷した歯をできるだけ安静にして様子をみますが、歯を元の位置に戻し(整復)、両脇の歯と連結して安静を図り(固定)、歯の周りの組織の回復を待ちます。

一方、低年齢児の乳歯や生えたての永久歯がめり込んだ場合は、歯根がまだ未完成なため自力で再び生えてくるのが期待できるので、無理に元の位置まで戻さずに様子を見ることもあります。



歯肉からの出血は原因を確認する必要がある



乳歯の下顎前歯が大きくずれている



生えたての永久前歯がめり込んでいるが、再度生えてくるのが期待される

歯が抜けた 無くなった

歯が抜け落ちた(脱落)場合、再植が試みられます。受傷から歯医者さんを受診するまでの時間が勝負です。できるだけ近くの歯医者さんに駆け込んでください。30分以内が目安です。抜けた歯は可能であれば水道水で汚れを落とし、抜けたところに差し込んでください。難しければ冷えた牛乳や最低でも水道水に入れて

乾かさないようにして歯医者さんに持って行ってください。学校で抜けた場合は歯の保存液がありますので先生に言ってください。歯の周りの組織の損傷が軽度で、脱落した歯の状態がよいと、上手くいくと一生持つこともあります。歯医者では脱落した歯を元の位置に戻して、固定を行います。固定は通常10日~14日間行います。従来、乳歯は原則として再植は行わなかったのですが、最近では限られた条件の中で再植が試みられています。



下顎の永久前歯が抜け落ちた(脱落した)



再植を行って、歯肉の縫合と歯の固定を行ったところ

歯のけがの後について



歯を打ったあと、歯の色が変わってくる場合があります。数か月して徐々に歯の色が黒ずんでくる場合は、神経(歯髄)が死んでいる可能性が高くなります。この場合は神経(歯髄)の治療が必要となります。ほっておくと、さらに色が悪くなったり、根の周囲に病気ができて歯肉が腫れてくることもあります。エックス線写真などで最低1年は定期的に観察する必要があります。問題が起きれば根の周囲の病気を早く発見して、根の治療を行うことができます。また乳歯の外傷で歯がゆがんだり、めり込んだりした場合は、後生えてくる永久歯に問題が出る可能性があります。特に2歳までに受傷した場合半分くらいの永久歯に大なり小なりの影響が見られるといわれています。

どうもありがとうございました